

SHIRO TORI 通信

Vo.16

2017 summer

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは

おしゃれなお店！

「からあげセンター南箕輪店」
10月中旬オープン！！

「からあげセンター 南箕輪店」さん

城取設計ニュース

オススメ！この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録！地元のチカラ この街の企業

cafés

営業コラム





建築NEWS

暖簾がかかるスタバ？ 京都にオープン

75カ国に2万6000店を展開し、日本にはそのうち1260店があるスターバックス。ガラスや金属を使っただけの店構えから一転、畳に座布団、日本庭園など日本の伝統文化に囲まれてコーヒーを楽しめる、スターバックスコーヒー京都二寧坂ヤサカ茶屋店が6月30日、伝統的な町並みがそのまま残る地区にオープンしました。

スターバックスのロゴは、入り口にかかった紺色の暖簾だけに控えめにあしらわれていて、築100年を超える伝統的な日本家屋を改修した店舗はまるでタイムカプセルで時を



飛び越えてきたかのようです。

地域のコミュニティを大切にし、国内外の観光客を特別な空間でもてなすという。歴史ある日本家屋と地域へ配慮し、店内混雑時の入場制限や店舗前での行列の禁止など利用者にも理解を求めています。

暖簾をくぐって店内に入ると、1階の廊下の奥には伝統的な庭を楽しむことができるバーカウンターが設置されています。2階には靴を脱いでくつろげる畳の座敷が3部屋あり掛け軸や京都の丹後ちりめんを使った座布団でゆったりと時を過ごすことができます。



イ建築研究所が設計した「キナーレ」は大地の芸術祭の中心的施設で、中庭を囲む回廊の2階に12点の常設作品が展示されています。全作品を回ろうとすると1〜2日では到底足りません（1週間前後が目安）。



大地の芸術祭の里

3年に1度開催される世界最大級の国際芸術祭「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」の舞台となる、越後妻有地域（新潟県十日町市・津南町）を「大地の芸術祭の里」と呼んでいます。今回7回目となる「大地の芸術祭」は、アートディレクターに北川フラムを迎え2000年に始まりました。約760kmの広大な里山を10のエリアに分けて作品を展示。

十日町市街地にある原広司+アトリエ・フアイ建築研究所が設計

した「キナーレ」は大地の芸術祭の中心的施設で、中庭を囲む回廊の2階に12点の常設作品が展示されています。

建築探訪

城取設計ニュース

先代13回忌を忍ぶ会

8月10日（木）に先代であります城取義直13回忌を偲ぶ会を行いました。何十年にもわたり毎月開催していた「二木会」という会がありました。先代を中心に建設業界の方が集まるのですが、毎月第二木曜日に開催するということで「二木会」という名前が付いたそうです。

私も先代が亡くなる1年程前から参加させてもらいましたがとても勉強になる会で、城取設計の歴史や考え方を聞かせてもらったり建設業界の歴史や将来の展望など第一線で働く方々の話を聞かせてもらえることは30歳前の私にはとても新鮮な会でありました。何よりもユニークであったのは毎回の開催場所になります「加茂川」でのひとコマ。今は閉店してないのですが、お好み焼きと焼きそばを自分で焼くスタイルのお店



なんです。スーツの上に汚れてはいけないようエプロンをつけ「俺は薄味だ！」「隠し味は醤油だ！」「そんな声がいつも響いていたことが懐かしく思えます。参加いただきました皆様ありがとうございました。

おススメ

この一冊

「生涯投資家」

村上 世彰（文藝春秋）

「村上ファンド」を率いて日本に旋風を巻き起こした男の、最初で最後の告白

村上ファンドを率いて日本に旋風を巻き起こした村上世彰氏が、その実像と思いを自ら書き上げた話題作を紹介します。

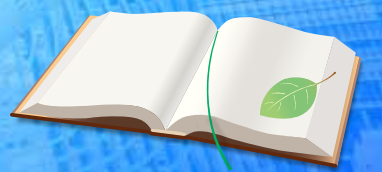
2006年6月、ニッポン放送株をめぐるインサイダー取引を行った容疑で逮捕され、のちに執行猶予つき有罪判決を受けた村上ファンドの村上氏。以後、表舞台から姿を消していましたが近年株式取引の世界に復帰。その動向が注目されています。

灘高―東大法―通産省を歩んだエリートがなぜ投資の世界に飛び込み、いったい何を試みたのか。ニッポン放送、阪神鉄道、東京スタイトルなどへの投資において、い

ったい何があったのか。その投資哲学、日本企業、日本の経営者たちへの見方はどうなのか。そして今後何をしようとしているのか。本書は、その村上氏の最初にして最後の著書であり、半生記であり、投資理念の解説書にもなっています。



村上世彰 著
定価・本体1,700円＋税
発売日・2017年6月21日
形態・四六判（280ページ）



特集

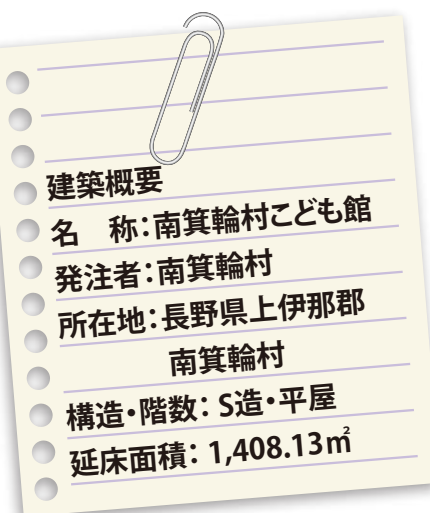
施工事例

創業54年を迎えた城取
建築設計事務所が手がけ
た設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え
過去から未来へつなぐ施設を作ります。

施工事例

夢を乗せて
山並みの中を
走る蒸気機関車
をイメージして



こども館は子育て相談窓口や、フィンランドの制度を参考にした、妊娠期から子育て期にわたる支援を行う「南箕輪村版ネウボラ」、放課後児童クラブを設け村民交流機能も加えた複合型施設です。南箕輪村の未来を担う子どもたちが、限らない夢と想像力を持ち、健やかに成長していくために、成長段階に合わせた子育て支援・相談をはじめ、子どもたちが「学び・遊び・交流」ができる「みんなの憩いの場」を目指し計画されました。コンセプトは、子どもの施設にふさわしい夢のある外観となるよう山並みの中

を走る蒸気機関車をイメージして設計しました。館内には、3つの相談室や、多目的ルーム・研修室・放課後児童クラブ室・遊戯室などを備えた施設となりました。

1. 日当たり・風通しがよく半室外空間になっている中庭テラス
2. 青空をモチーフにした室内のにぎわい・夢ひろば。多種多様なイベントや用途に利用できる交流・情報発信スペース
3. 丸窓からは外を行き交う人々が見え、天井・壁・も「まる」でまとめた優しいイメージの託児室
4. 遊戯室の高い天井には「まっくん」のシルエットと、木のぬくもりを感じられる空間





カフェタイズ
伊那市西町5863-1
www.cafeties.com

営業時間
月～木 11:00～18:00
金 曜 日 11:00～22:00
土 曜 日 10:00～22:00
日 曜 日 10:00～20:00
※冬季の夜営業は宴会
ご予約のみ。

この夏一押しのスイーツ！！

7月からメニューが新しくなりました。人気のスイーツにも新しい味が仲間入りしました。オススメはワッフル生地のエスプレッソを練りこんだエスプレッソボウル。小豆とクリームチーズをトッピングしました。意外なこの組み合わせが絶妙です。ストロベリーチーズケーキのワッフルボウルもありますよ。グラニータ、メイソンジャーも新フレーバーが加わりました。

今年の夏もカフェタイズへ足を運んでください。



営業コラム



毎年お盆休みに合わせて行くのが「甲子園」そうです。高校野球を息子と見に行くのが恒例行事となりました。今年は15日に行く予定で、1試合目は長野県代表松商学園の試合となります。(11日原稿執筆)

おとしの夏はたまたま座った席が、プロ野球のスカウト席の隣だったらしく「スピードガン」を見ながら観戦するなど貴重な体験をすることが出来ました。今年はどうな出会いがあるのか、どんな熱い戦いが見れるのか今から楽しみです。



この街の企業

実録

地元のチカラ

今回は設計事務所の専務であり「cafétiesオーナー」であります城取ゆりかの新店舗「からあげセンター南箕輪店」を紹介します！！

ビル内にお店を構える鶏から揚げ専門店です。(8月松本平田店・9月松本イオンモール店オープン予定)

全国からあげグランプリ3年連続(金賞)受賞しており、鶏のからあげと信州のご当地グルメ山賊焼が楽しめるお店です！宴会はもちろん、夕ご飯のおかず、会社員さんのお弁当や電車での子供、学生さんのおやつ、お土産などなど幅広くご利用いただけるお店なんです。そんな人気のからあげセン



おしゃれなお店！「からあげセンター南箕輪店」 10月中旬オープン！！

からあげセンター
(南箕輪村)



ターが南箕輪村に10月中旬オープンします！！

「オシャレ」にこだわった店舗は地域にとけこむような木をふんだんに使い、店内も天井が高く開放的な空間となっていて、また様々な用途にご利用できるように考え「小上がりの座敷(最大25席)」「プライベート座敷(8席)」「外を見ながらのテラス席(25席)」も用意しています。食事はもちろんですがこだわり満載のお店ですので一度足を運んでみてください！！

「おしゃれなカンケイ」を目指して

生まれ育った南箕輪村に男女問わず子どもから学生・青年・年配の方まで多くの人が集まるそんな飲食店を作りたいと考え「からあげセンター南箕輪店」をオープンします。カフェタイズとのコラボ店でもあるのでアイドルタイムには「ワッフル」も食べられるよう計画していますので楽しみにしてくださいね！！



からあげセンター 南箕輪店
長野県上伊那郡南箕輪村久保298-5

オーナーの横顔
城取 ゆりか

時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。
私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、
そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。

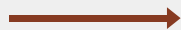
設計からアフターフォローまで責任を持って取り組みます

事前打ち合わせ

設計業務

監理業務

費用は掛かりません



株式
会社

城取建築設計事務所

- 創 立：1963年4月1日
- 代表取締役：城取健太
- 資 本 金：1000万円
- 登 録：（上伊）J第2Y051号
- 取 引 銀 行：八十二銀行 伊那支店
アルプス中央信用金庫 本店
- 所 属 団 体：（社）長野県建築士事務所協会
（社）長野県建築士会

■事業内容

- ・建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
- ・医療福祉施設に関する企画・設計・監理
- ・商業施設に関する企画・設計・監理
- ・環境・地域計画に関する計画・設計・監理
- ・建物構造調査・診断・設計・監理
- ・既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

■本社

長野県伊那市西町 5863-1
TEL：0265-72-7271
FAX：0265-72-7270

